

Vol. 159

2017.7.21

理事長トーク Top Interview

今年も live image 17 dix-sept に
協賛しました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男



「live Image (ライブ・イメージ)」は2001年の開始以来、昨年までの16年間に延べ213回公演、58万3000人以上を動員している人気のリラクシング・ミュージックのコンサート・ツアーです。健育会は2010年から8回連続で冠協賛しています。今年も、東京都渋谷区道玄坂にあるコンサート・オペラ・バレエ用のホールであるBunkamura (文化村) オーチャードホールで開催されました。



お客様の入場の際には、「live image 17 dix-sept」用に作成した健育会グループを紹介するオリジナルのリーフレットをアーティストの皆さんのフライヤーと共に配布しました。会場4ヶ所に設置したパネルでは、今年4月に開院したねりま健育会病院とライフケアガーデン湘南を中心に、健育会グループについての紹介を掲示しました。また、オーチャードホールの2階の一角に健育会を紹介するブースを設置し、ご興味を持たれた方に病院・施設のパンフレットをお配りし、職員が詳しい説明をさせていただきました。



今年、ゴンチチさん（アコースティック・ギター）、宮本笑里さん（バイオリン）、沖仁さん（フラメンコギター）、羽毛田丈史さん（ピアノ）、小松亮太さん（バンドネオン）、高嶋ちさ子さん（バイオリン）、LE VELVETSの皆さん（ヴォーカル）に加え、ミュージカル等で活躍され、最近では「題名のない音楽会」の司会も務められている石丸幹二さん（ヴォーカル）が初めて参加されました。

オーチャードホールは、世界の三大ホールを模して作られたシューボックス型の国内最大規模のホールということもあり、参加されたアーティストの豊かな演奏を余すことなく楽しむことができました。また、今回初めて参加された石丸幹二さんが歌われた往年の名曲「My Way」をはじめとして、宮本笑里さんが演奏された映画タイタニックの「My Heart Will Go On」、また、小松亮太さんが演奏した誰もが耳にした事がある「ネスカフェ・ゴールドブレンド」CM曲など、長年親しんできた名曲が多かったのですが、従来のアレンジとは異なり、大変新鮮な印象を受けました。



そして、コンサートのアンコール曲として、4年前に作曲していただいた健育会60周年記念曲「Together we walk」（作曲：葉加瀬太郎）を出演者全員で演奏していただきました。今年もアーティストの皆さんの特長を生かして音楽監督の羽毛田さんがアレンジしてくださり、いつもにも増して心に響く進化した「Together we walk」を聴くことができました。

また、アンコール曲の2曲目として演奏された、毎年恒例となっている「マイ・フェイバリット・シングス」も、石丸幹二さん、LE VELVETSの皆さんのコーラスが入った新しいバージョンで、観客の皆さんを魅了していました。

コンサートで感じた感動をアーティストの皆さんにもお伝えしたいと思い、コンサートの後には楽屋に伺いご挨拶させていただきました。





千秋楽の7月14日(金)には、「live Image」に日本医師会長 横倉先生をはじめ、日頃からお世話になっている方々約150名をご招待しました。一部・二部の間の休憩時間、そして終演後には、オーチャードホールのビュッフェを貸し切り、軽いお食事とお飲み物を楽しんでいただくレセプションパーティーを開催しました。パーティー会場の天井には「Together we walk」の曲に合わせた健育会グループの病院・施設の紹介映像を流しました。多くの皆様にはありがとうございました。皆様から口々に、「音楽を楽しませていただきました」「素晴らしいコンサートでした」などのお声をいただき、皆様に「live Image」を通じて癒しのひとときをご提供できたことを大変嬉しく思いました。



音楽で癒しを届ける「live image」は、今年も大盛況のうちに幕を下ろしました。終演後、観客の皆さんも、お集まりいただいたご招待のお客様も、一様に笑顔がすばらしく、音楽が人に与えるパワーをあらためて再認識しました。

健育会グループでは、これからも「live image」をはじめとした社会文化活動を続けていきたいと考えています。

